

政策4 だれもが暮らしやすいまちをつくります

担当部 都市整備部・上下水道部

施策が実現できたときの状態について、平成25年度での到達状況

- 【一部達成した】**
- 基本政策「だれもが暮らしやすいまちをつくります」の政策目標にである「自分の住む地域に愛着を持っている人の割合」が2.4ポイント下がり、平成25年度の目標(79.4%)に達していない状況です。
 - 木造住宅の耐震化について、耐震診断は6件、耐震改修は実施がなく、いずれも目標戸数に達していない状況です。一方、東日本大震災の住宅再建支援として、被災住宅の補修等を推進しました。(36件)
 - 市道改良事業や交通安全施設整備事業を実施し、道路交通の円滑化や歩行者の安全確保を図りました。
 - 市内4駅の駐車場、駐輪場等の適正な管理を行い、パークアイランドを推進しながら、減クルマチャレンジに取り組む等公共交通の利用促進に取り組みました。
 - スマートインターチェンジの事業許可後、ネクスコとの協定により事業着手しました。
 - 公共下水道、農業集落排水の汚水処理施設の適正な維持管理に努め、また合併浄化槽の普及を促進し、快適な生活環境と公共用水域の水質保全を図りました。
 - 浄水場施設の整備や老朽管の布設替え、更に簡易水道施設の更新を行い、水道の運営基盤の強化を図り、市民から信頼される水道に努めました。

3ヵ年方針のうち、平成25年度の重点課題の達成(実現)状況

- 【概ね達成した】**
- 市都市計画マスタープラン、景観形成方針、盛岡広域都市計画の線引き見直しの素案を策定しました。
 - 事業の実施に当たり、除雪懇談会や各事業説明会の開催、チラシの各戸配布による周知等を行い、地域住民の理解と協力、協働による取り組みを推進しました。
 - 下水道の法適用のために資産調査評価等を実施しました。また、農業集落排水事業機能調査結果を基に、農業集落排水事業の公共下水道事業との統合について県と協議し、公共下水道管への連結手続きを進めました。
 - 水道施設の更新改良や簡易水道事業の関連工事を推進しました。また、新たな水道経営計画に着手しました。

施策目標の達成(実現)に向けた3ヵ年の取組みと方針についての達成(実現)状況

- 【一部達成した】**
- 市都市計画マスタープランは次期総計の策定期間にあわせ、平成27年3月に策定することとし素案を作成しました。
 - 市道路線整備計画の見直し(第2回変更)を行いました。
 - 公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽の設置の各事業により、汚水処理施設の適正な管理、また新たな施設を整備し、衛生的な暮らしと公共用水域の水質保全を図りました。
 - 配水管の整備等に耐震化工事を施し、また既設施設や非常用発電機の更新、修繕等を行い、水道の安定供給と災害に強い施設の構築を図りました。

政策目標値の達成状況

